



ACCREDITED
2013

華頂短期大学は
平成25年度(一
財)短期大学基準
協会による第三者
評価の結果、適格
と認定されました。



京都華頂大学
<http://www.kyotokacho-u.ac.jp/>

華頂短期大学
<http://www.kacho-college.ac.jp/>

〒605-0062京都市東山区林下町3-456

TEL. 075-551-1188(代表)

TEL. 075-551-1337(キャリアセンター)

FAX. 075-551-1355(キャリアセンター)

E-mail career-center@kyotokacho-u.ac.jp

ACCESS



京阪 祇園四条駅[出口7]から

○東へ徒歩10分

京阪 三条駅[出口5]から

○東へ徒歩8分

阪急河原町駅[出口1]から

○徒歩13分

○市バス31, 46, 201, 203にて
知恩院前下車、東へ150m

地下鉄東西線 東山駅[出口2]から

○南へ徒歩4分

【JR二条駅・山科駅から、乗り換えができます】

JR京都駅から

○市バス206にて知恩院前下車、東へ150m

○地下鉄烏丸線、烏丸御池駅で

地下鉄東西線に乗り換え、
東山駅下車、南へ徒歩4分

保護者のための

就活 ガイドブック

career note



京都華頂大学
華頂短期大学

Kyoto Kacho University / Kacho College

Kyoto Kacho University develops a zest for living in the future
by promoting the potential of individuals
who will create a new era with dignity and grace.
Passing on and cultivating one hundred years of nobility —
Kacho College continues to evolve in its pursuit of a learning environment
where tradition and innovation flourish.

next to
the future



ごあいさつ

将来のために、一歩ずつ。 大学時代にできること、 しなければならないことを考え、行動しましょう。

「キャリア」という言葉が巷に溢れています。

このキャリアとは一体何を意味するのでしょうか。

分かりやすい言葉で置き換えると、「これまでの履歴、そしてこれからの履歴」ということかもしれません。

また、「キャリア」には、「ライフキャリア(生活の履歴)」と「ワークキャリア(仕事の履歴)」の二つの意味がありますが、この二つのキャリアは不可分のものとして位置づけられています。

もう少し簡単にいうと、キャリアとは「実績」ということであり、長い人生の過程で、さまざまな年齢期に応じて蓄積されていく「生きていく力」だといえます。

従って、キャリアはそう簡単に身に付くものではありません。

多様な人間関係や地域、社会との関わりから醸成されるものであり、それは自分自身の積極的な関わりを通してのみ形成されていきます。

大学時代は、生涯に亘るキャリアを築いていくうえで、大変重要な時期に当たります。

保護者の皆様におかれましては、大学生活の意味・重要性を十分にご理解いただき、将来予測される様々な課題に立ち向かえるよう、

時には厳しく、時には寄り添い、社会人として巣立っていただけるよう

ご支援のほどお願いいたします。

キャリアセンター長

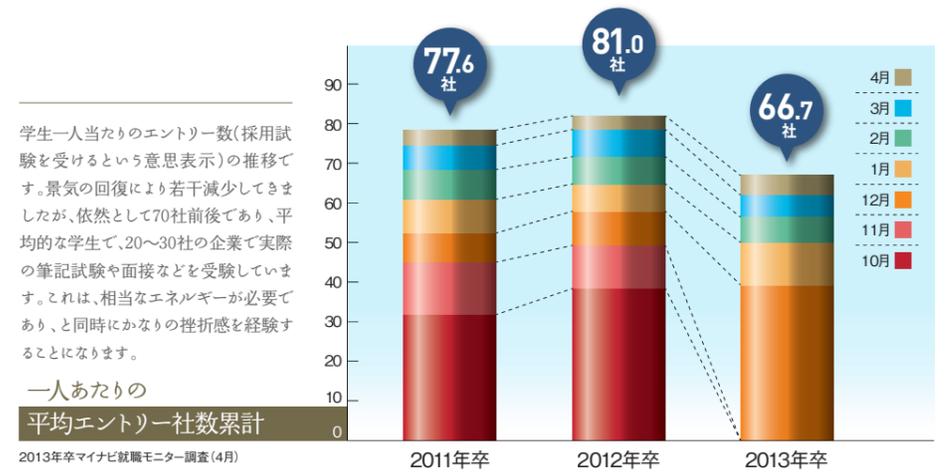
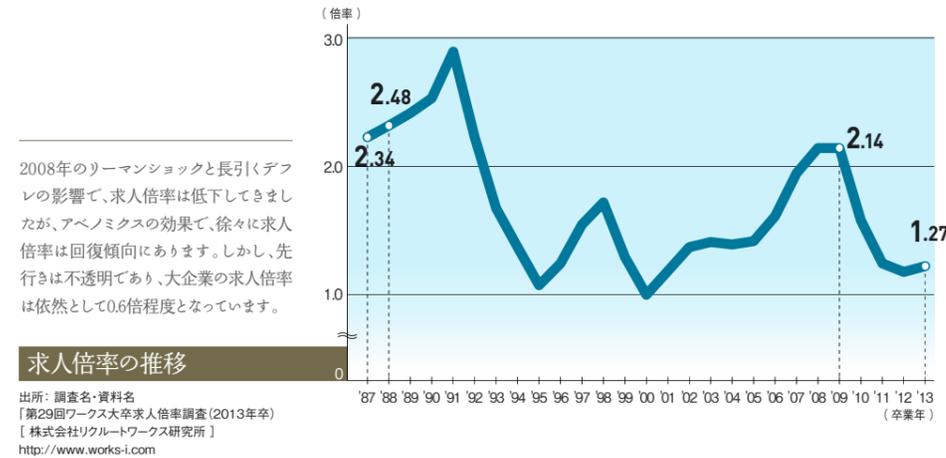


就職事情の いまを知る。

親世代の就活時代と現在では、社会環境も就活方法も大きく違ふ。

親世代の就職活動の雇用環境や社会構造・社会環境は、現在のそれと比べ大きく変化・変容しております。まずこのことをご理解いただきたいと思ひます。例えば、昭和59年(1984年)の18歳人口は約170万人、当時の大学進学率は24.8%に対し、平成24年(2012年)は約120万人で53.5%です。大学の学生数から比較すると、約184万に対し約288万人と18歳人口は減少しているのに学生数は飛躍的に増加しています。就職率から見ると、76.7%から63.9%まで12.8ポイント減少しています。

これは、親世代の就職環境から見ると明らかに厳しい環境に変化していることとなります。と同時に大学新規卒業者を日本の産業全体で受け入れがたいことを意味しています。経済のグローバル化、終身雇用制度の崩壊、科学技術の発展による産業構造の転換などが理由として挙げられます。



また、親世代の当時はインターネットもなく、就職情報は大学就職部か紙媒体でした。現在は、至るところで様々な手段を使用して、いつでもどこでも求人情報が入手できます。そして、過去にはなかった「自己分析」とか「ES(エントリーシート)」、「自己PR」といったものが採用試験の主流となり、チャレンジする企業などもネット環境の発展などにより増加しているのが現実です。このような時代の変化や、社会環境などの大きな変化に直面しているのが現在の学生達です。昔の学生と比較して、「就職することが難しい」時代にあることをご理解いただくとともに、大企業だけが企業ではなく、大企業を凌ぐ優秀な中堅・中小企業も多く存在していることにも注意を払っていただきたいと思ひます。また、高齢化の進展に伴い、医療・介護・福祉などの専門的技術者が絶対的に不足し、高い求人倍率が続いていることも見逃せない事実です。

◎ 就職活動用語集

[インターンシップ]

大学と企業との連携により、学生が在学中に企業に体験入社する制度。大学3年生の夏休みに行われることが多く、就職活動本番でのミスマッチを防ぐ目的もある。

[採用選考に関する指針]

経団連が決定した採用に関する指針で、
①公平・公正な採用の徹底
②正常な学校教育と学習環境の確保
③採用選考活動早期開始の自粛
④採用内定日の遵守
⑤多様な採用選考機会の提供
と加盟企業に義務づけたもの。

[合同企業説明会]

全国で開催される就職イベントで、数多くの企業が出展し、事業内容や仕事内容、社風、求める人材などを説明する場。

[エントリー]

採用活動中に企業に興味があることの意味を示すこと。エントリーをすることで企業の資料や説明会に日程などの情報提供を受けられる。採用試験の第一ステップ。

[エントリーシート]

企業などが独自の形式で制作する応募用紙。資格の有無や大学時代に打ち込んだこと、採用に対する意気込みを記入する。記述内容が一次選考の課題となっていることも少なくない。

[SPI]

就職試験の一環として行われる総合適正検査。性格適性診断、長文読解や英語などの言語能力、数学的な非言語能力のテストからなる。採用の精度を高めるための初期試験。

[グループディスカッション]

学生数人で決められたテーマに関する議論を行い、面接官がその様子をチェックする面接方式。集団内での協調性や性格、考えなどがチェックされる。

[Uターン・Iターン]

「Uターン」とは、大学などへ進学のために地方から都心へ出た学生が、卒業後、郷里に戻って就職すること。「Iターン」は、都市部で生まれ育った学生が、地方で就職することを指す。

[内定]

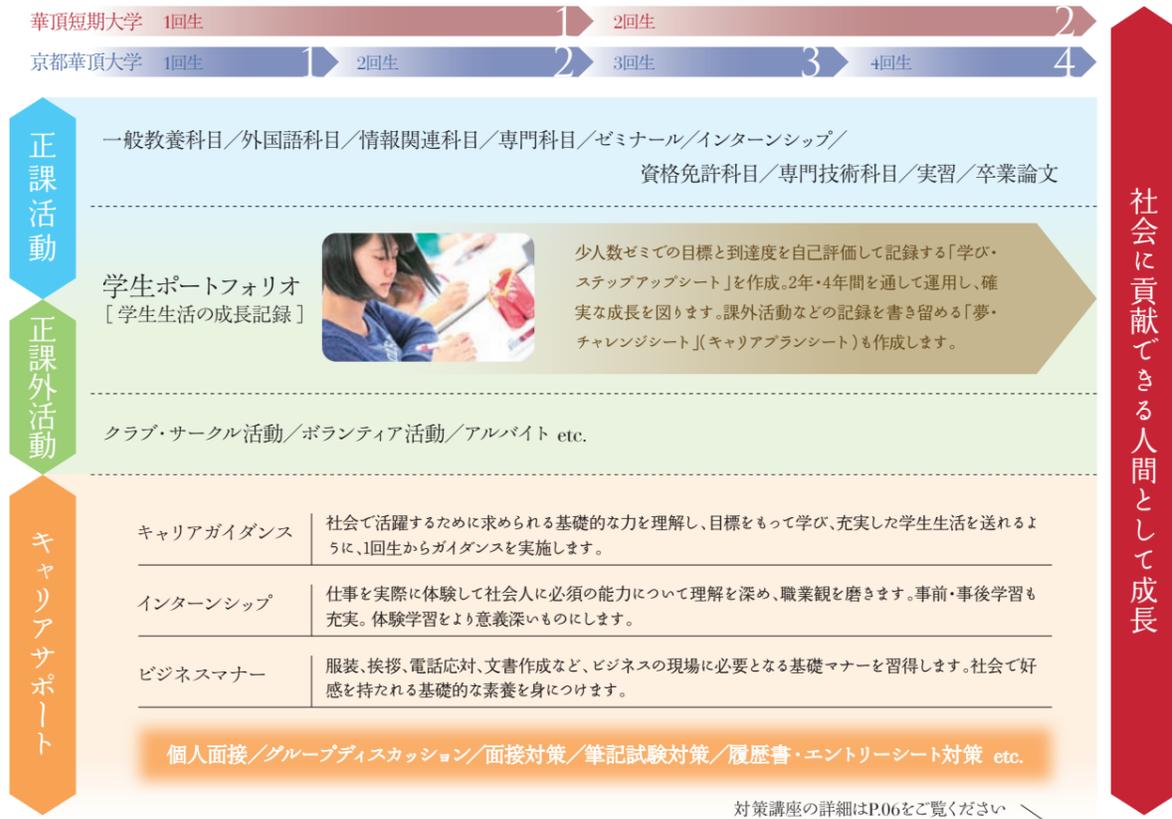
実質的な採用決定のこと。学生に対して企業が「採用したい」という意思を表示すること。

教職員全員で 就職支援サポート!

就職支援体制について

本学の就職支援体制の最大の特徴は、教職員が一丸となった支援体制を敷いていることです。特に、教学(教員)と事務局(キャリアセンター)の横断的・協働的な連携により、学生一人ひとりの進路希望に合わせた支援を行っています。担当のゼミ教員、学部・学科に配置されているキャリア委員とキャリアセンターが密接に連絡を取り、学生個々の進路希望に関する情報交換や、学生生活とキャリア形成、将来に亘るライフデザイン(生活設計)などの助言や指導に当たっています。

また、卒業後(卒業後3年間)の求人情報の提供や、転職等に関する相談・助言も、学部・学科の教員と一緒に協議しながら、適切な指導が行えるよう様々な業界・業種の情報を収集しています。学生諸姉におかれましては、キャリアセンターを積極的に活用していただき、また、保護者の方々におかれましてはご遠慮のないご質問、ご要望をお寄せくださるようお願いいたします。

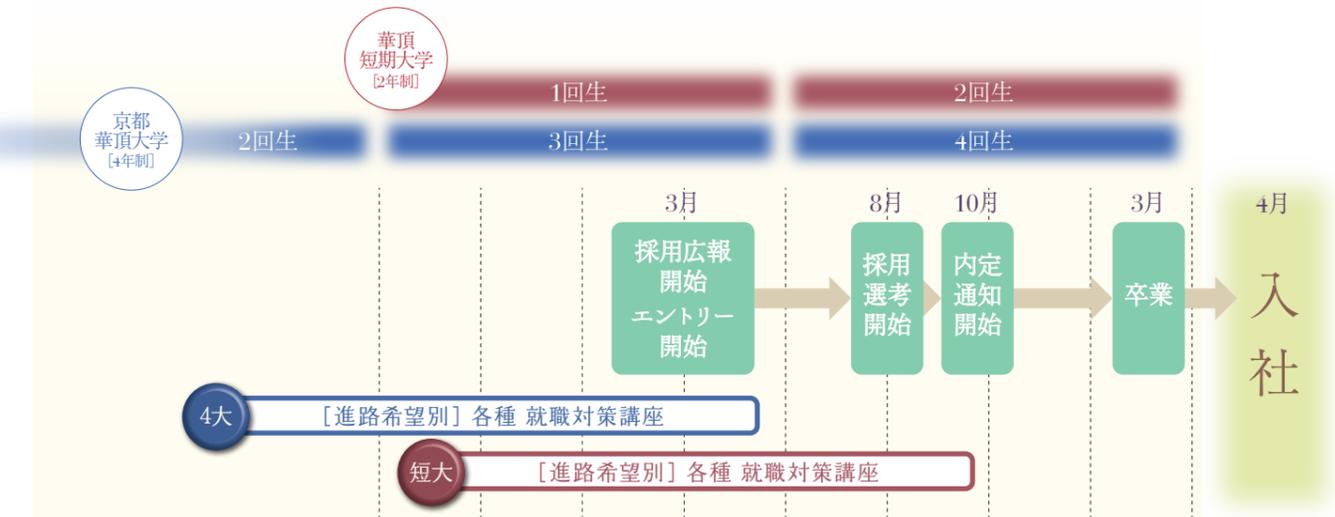


大学生の就活時期と その準備についての知識を!

具体的な就職活動スケジュール

就職活動の開始時期は、進路希望(一般企業、公務員、教員、保育士、社会福祉士施設職員、大学院進学など)により異なりますが、どのような進路を選択する場合も、基本は、まず学業をしっかりと修めることが結果的には一番の早道となります。また、課外活動(クラブ・サークル)やアルバイトなども積極的に行うことで「人間力」の向上が図られ、就職活動(ESの作成、面接での対応)に有利となります。何事にも主体的かつ積極的な活動の積み重ねと、幅広い知識と教養の獲得が大きな力を発揮し、卒業後のキャリア形成へと繋がっていきます。一般企業希望者の実際の就職活動の開始時期は、大学生は4回生に進級する直前の3回生の3月から、短期大学生は2回生に進級する直前の3月からとなります。そして、採用選考開始は、大学生・短期大学生ともに最終年次の夏休み開始直後の8月1日からとなります。約2カ月の選考時期を経て、10月1日から順次内定が出されます。

また、公務員(行政職、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、中学校・高等学校教諭)は受験年度の採用選考日程に従って受験しますが、公務員を志望する場合は、遅くても大学生では2回生、短期大学生では入学直後から受験対策に取り組む必要があります。ただし、保育士・幼稚園教諭については、自治体によっては採用がない年度があったり、採用選考日程が著しく遅い場合もあります。私立の保育所や幼稚園、社会福祉施設職員は概ね求人開始が最終年次の夏休み以降となりますが、人手不足から通年採用を行っている事業所も多くなってきました。いずれにしても、自分自身の進路希望に応じた情報収集と受験対策が必要です。



2016年3月卒業予定者(現大学3回生、短期大学1回生)から、企業の採用選考活動が後ろ倒しになり、これまでの就活開始時期(3回生の12月)から3回生の3月へと変更になりました。このことに伴い、企業の実際の採用選考が4回生(短大生は2回生)4月から、8月へと変更となりました。

これは、政府から産業界に要請があり、「大学での修学時間の確保」などの理由によるもので、日本経済団体連合会(経団連)が政府の要請を受け入れ、平成25年9月13日に「採用選考に関する指針」を定めました。ただし、経団連加盟以外の企業(外資系、中小企業など)はこの「指針」の適用外となります。また、これに伴って、公務員試験(国家・地方)の日程も変更が予定されます。なお、この就活の「後ろ倒し」により、以下の課題が発生すると予測されます。

1. 8月は酷暑の時期 ⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒ 体調管理を万全にする必要があります
2. 就活時期の短期化 ⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒ 焦りに対する対応をしっかりとする必要があります
3. 卒業論文の作成時期 ⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒ 周到なスケジュール管理が必要です
4. 進路選択(特に大学院進学・大学編入学)の悩み⇒ しっかりとした将来像が必要です

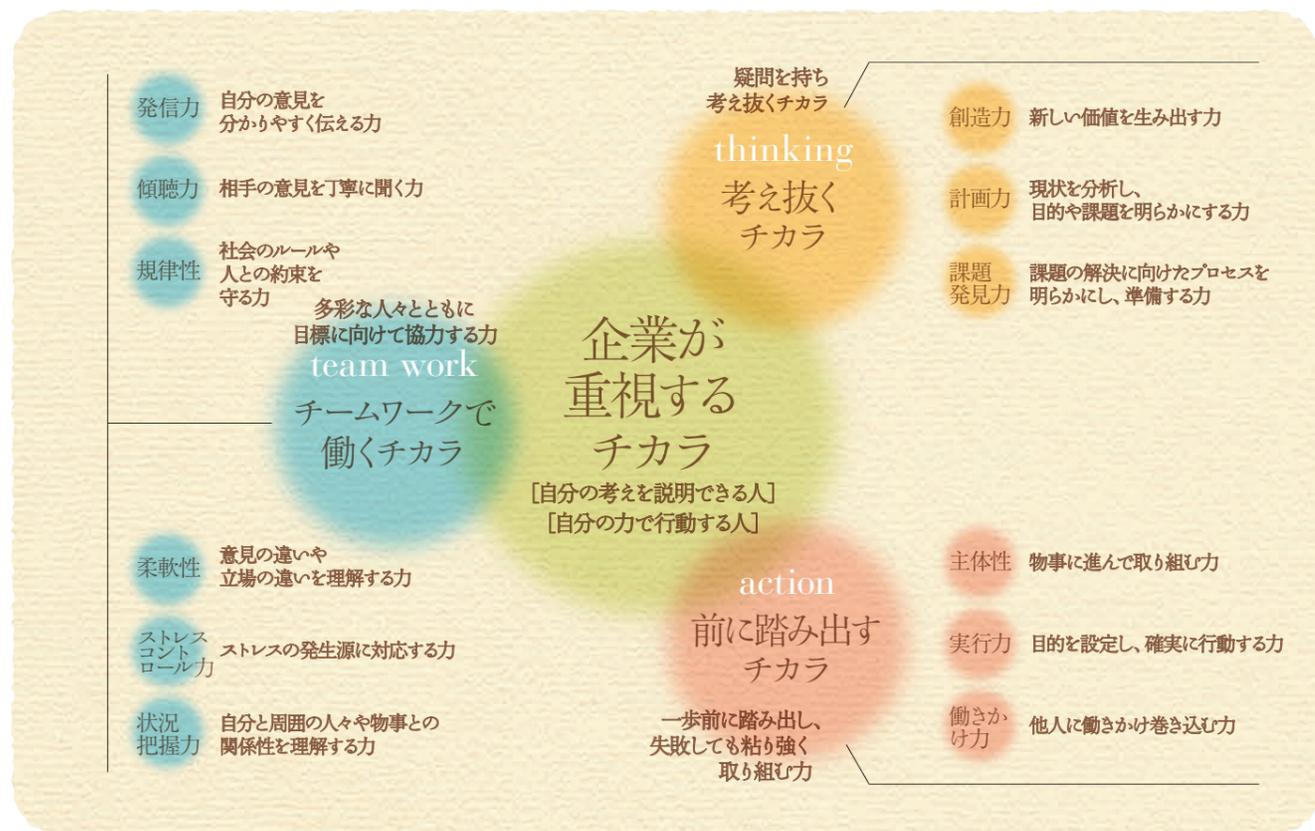
Career Center [キャリアセンター]



キャリアセンターの最大の特徴は、「カウンターレス」(受付・相談のためのカウンターを設置していない)にあります。学生諸姉が気軽に、緊張することなく、職員と同じ目線、そして対等にコミュニケーションが取れる環境整備を行っています。業種ごとの求人票、Uターン就職情報、障がい者の求人情報、求人サイト検索用のパソコン、模擬面接ブースなど、学生諸姉の様々な要請に応じて利用できるよう整備されています。

求められるチカラと 保護者の方へのお願い。

社会人として求められる「チカラ」は、あらゆる変化に対応できる力です。社会は刻々と変化し、自分自身がおかれている環境も日々変化していきます。この変化に対応する「チカラ」をどのようにして獲得してきたのか、またその「チカラ」をどう活かせるのか。これが採用側がいちばん重視する点です。そして、保護者の方々には、就職活動の過程で大きなプレッシャーを受けながら必死に歩んでいるご息女様に、適切な支援とアドバイスをお願いいたします。



保護者の方へのお願い

01 就職活動の厳しさをご理解ください。

これまで経験してきた大学入学試験などと違って、社会人になるための就職活動は大変厳しく、これまでに経験したことのない、相当なプレッシャーやダメージを受けます。いわば、就活は社会人になるためのイニシエーション(通過儀礼)です。このことを十分にご理解ください。また、この試練を乗り越えて、学生は一気に成長していくのも事実です。

02 親世代の価値観と子ども世代の価値観は相違します。

就職活動の方法や、親世代の雇用環境、物事に対する価値観などは大きく変化しています。現在、学生が置かれている雇用環境や経済状況、就活方法などを理解ください。また、大企業や有名企業だけが良い企業とは限りません。経済のグローバル化などにより、企業の組織形態、雇用形態も大きく変化し、優良な中堅・中小企業も数多くあることもご承知ください。

03 親の希望を押し付けず、頭ごなしに子どもの意見を否定しないでください。

進路(就職、進学)の決定に大変心配されるお気持ちは、当然おありのことと思いますが、まずは、子どもの希望や就職希望先の会社の話などに耳を傾けてください。子どもは、自分で主体的に考え、また、情報収集しながら行動することによって成長していきます。親がかりの取り組みは、かえって子どもの成長する機会を奪ってしまうこととなります。

04 他の学生や兄弟などと比較した言動はしないでください。

他の学生(早くに内々定、内定を確保した学生)や、兄弟(兄や姉の成功体験)と比較されることは、本人にとって大変なプレッシャーとなります。また、就活の過程においては、自分を否定されるという「これまでに経験したことのない状況」に追い込まれ、「就活うつ」となる学生もいます。保護者の方は、一歩さがった「良い伴走者」いてください。

05 マイナスイメージを与えるアドバイスは避けてください。

仕事には、業種や職種により、また専門職固有の業務内容など、良い面も悪い面も共存しているのが実態です。子どもは、様々な情報からその両方を知り、自らの判断で自分の進む道を決めようとしています。マイナスイメージ(悪い側面)だけを強調しすぎると、やる気を削いでしまうことになりかねません。アドバイスは慎重をお願いいたします。

06 就職活動にはお金がかかります。

実際の就職活動には、それなりのお金がかかります。これまでの入学試験などと違って採用試験には検定料(受験料)はかかりませんが、企業や教員採用試験などはその所在地において実施されますので、まず、交通費がかかります。数多く受験すれば、それだけ費用がかかることになります。また、就活用のスーツ、カバン、靴、化粧品、履歴書用の写真などの費用も思った以上のお金がかかりますので、是非ご理解のうえご支援をお願いいたします。

kacho career support program

華頂のキャリア サポート プログラム

学生の進路希望は様々ですが、大学・短期大学ともに伝統的に専門的な資格や免許を活かした就職希望が多いことが特徴です。主には、幼稚園(幼稚園教諭)、保育所(保育士)、社会福祉施設(社会福祉主任任用・介護福祉士)などです。大学には、保育士の養成課程の他に、小学校教諭、中学校・高等学校教諭(家庭)の養成課程、図書館司書、社会福祉士国家試験受験資格を設けています。これらの専門的資格や免許の資格取得の指導・助言、そして専門的職業としての進路希望を叶えるため、「**教職・資格教育機構**」という組織が設置されており、キャリアセンターと連携して学生諸姉の進路支援に当たっています。

主な就職支援講座、キャリア支援講座は以下のとおりですが、キャリアセンターでは学生個々人の進路希望に合わせ、常時、エントリーシート(ES)や履歴書の添削指導、個別面接指導を実施しており、また、生涯に亘るキャリアデザイン(生活設計)に関する相談にも対応しています。

講座タイトル	講座の説明
一般企業 就活支援セミナー	一般企業就職希望者への導入的支援講座です。就活のスケジュール、心構え・準備などを助言、指導しています。
筆記試験対策講座	一般企業の一次試験で数多く実施されている「SPI」の対策講座で、外部の専門講師による解説を行っています。
一般企業就活支援& 就職対策講座セミナー	一般企業の採用試験で行われる各種試験(ES、面接等)に応じた対策講座です。
MOS対策講座	一般企業希望者を対象としたパソコンの基本操作の修得を目指す講座です(マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト)。
専門職(幼稚園・保育所・施設) 採用試験対策講座	幼稚園と保育所の違い、各種社会福祉施設の研究とそれぞれの試験対策についての講座です。
教員採用試験対策講座	一般教養、教職教養、専門教科(幼・小・中・高)試験の対策講座で、外部の専門講師と機構で対応しています。
教員採用試験演習講座	幼稚園、小・中・高等学校教員希望者対象の実践的な採用試験対策講座で、現場の教員やOBの教員を招いて少人数制で徹底的な訓練を行います。
公務員試験対策講座	公務員(行政職、事務職、保育士)希望者を対象とした試験対策講座で、外部の専門講師を中心に機構と連携しながら実施しています。
公務員全国公開 模擬試験受験	公務員試験対策講座、教員採用試験対策と連動させ、学生に受験を指導し、弱点の強化を図っています。
教員採用試験対策 全国公開模擬試験	主に小学校(全科)教員、中学校・高等学校(家庭)教員希望者を対象に受験指導と結果分析を行っています。
社会福祉士国家試験 対策講座	社会福祉士の国家資格取得を目指す学生を対象に、機構と外部の専門講師と連携した対策講座です。

Q&A

[就職活動Q&A]

Q フリーターになりたいと言っていますか？

A 必ず就職するように進言・助言をお願いいたします。大学新規卒業での採用機会は、生涯にただ一度だけです。この機会を逃すことは致命傷になりかねません。アルバイトの経験は職歴にはなりません。また、フリーターを選んだ後、正社員での採用は極めて難しいのが実態です。

Q 女子学生の就職状況は？

A 近年、経済のグローバル化などに伴い、伝統的な雇用形態が大きく変化し、女子学生の就職環境は激変しています。女子学生の積極的な採用が増えています。また、旧来の事務職採用は急減し、総合職や営業職での採用比率が大きくなりました。会社研究などで、女子社員の比率や活躍の度合いなどを調べる必要があります。

Q Uターン就職の情報収集は？

A 各地域における求人情報提供機関としては、以下のような機関があります。
●職業安定所(ハローワーク)
●地元新聞社
●学生就職情報センター
●各都道府県のUターン就職支援センター
●商工会議所
●就職情報誌
●ジョブカフェ などです。
春期や夏期の休業日などに帰省して、積極的に地元での情報を収集してください。幼稚園や保育所、社会福祉施設なども同様に情報収集をしてください。

Q クラブ・サークル活動に熱中していますが？

A 学業に取り組むのは当然ですが、クラブ・サークル活動に熱心に取り組むことも大変重要です。人間関係を広げ、「コミュニケーション能力・人間関係構築力」が培われます。また、採用側は必ず「大学時代に力を注いだことは？」と問いかねますので、クラブ・サークル活動での課題の克服や目標達成などが面接対策などで必ず役に立ちます。

Q 就職に有利な資格は？

A 就職に特に有利な資格はありません。しかし、前向きな姿勢で、目標を持って取り組むことは評価されます。面接時に「なぜ、その資格を目指したか、自分が得たものは何か」と問われます。ただ漫然と学生生活を送るのではなく、何事にも積極的な姿勢で取り組んだか、が問われます。

Q 他の子はどんどん内定をもらっていますが？

A 就職活動中は、「不安」や「あせり」を感じ、精神面のみならず肉体的にも相当のプレッシャーを受けています。家族の方々が「おおらかに」見守って、「大丈夫！」という姿勢で接して、前向きに頑張る力を与えてあげてください。また、体調管理にも十分注意してあげてください。